

地域研修レポート

名古屋第二赤十字病院研修医 2年

今回、新城市民病院で2週間の地域研修をさせていただきました。

毎日の初診外来では患者さんの主訴や病歴、身体所見を丁寧に集めてそこから考えられる疾患を鑑別に挙げ、指導医の先生と検査方針や治療方針について相談する形を取らせていただきましたが、普段勤務している救急外来では時間効率を重視しとりあえず一通りの検査をしてしまいそうな場面でも、一度病歴に立ち返って本当にどの検査が必要なのかを考え直すことを心がけて診療を行いました。病院によって診療の環境は様々であり、場合によってはより限られた検査しか選択できない事があるため難しさを感じる事もありましたが、それが自分の診療の姿勢を見直すきっかけにもなりました。

また夕方に毎日行われる外来患者の振り返りでも、診察時には挙がらなかった鑑別や、見逃しがちな診療のポイントなどについて上の先生方からフィードバックを受けることができました。一人の患者をただ診療して終わるままではなく、新たな疑問を見つけて調べることを繰り返すことでスキルアップにつなげていく事が重要だと気づき、理解をより深めることが出来ました。

初診外来が終わった後は主に指導医の先生が担当されている入院患者の病棟管理にも加わらせて頂きました。若手の先生方でも EBM を重視し、その患者にとって最も良い治療方法を選択できるよう勉強しながら向き合う姿勢が印象的でした。また、地域の特性上高齢の方が多いため、入院中に疾患を治療するだけでなく退院後にどのような生活へと戻っていかれるのかという部分も避けられない問題となりますが、そのような部分にも先生方自らが積極的に関与している事に驚きを感じました。研修期間中に社会福祉士の方にも退院調整についてご教授いただく機会がありましたが、そういったコメディカルの方々の尽力に医師も加わり、皆で協力して診療にあたる事の大切さを学ぶことが出来たのも大きな収穫だと感じています。

2週間という非常に短い期間ではありましたが、普段の研修ではなかなか経験できないような様々なことを勉強させて頂き、実りの多い研修となりました。これから先、名古屋第二赤十字病院へ戻ってからもこの経験を活かしていきたいと思っております。快く指導して頂いた総合診療科の先生方、コメディカルの方々、スタッフの方々皆様に厚くお礼申し上げます。